

『星野君の二塁打』 アンケート結果 & 感想

	保育・幼児	学校・心理	総計
①別府監督の言っていることに全面的に賛成	4 (7%)	7 (17.5%)	11 (11%)
②どちらかという別府監督に共感する。	18 (30%)	13 (32.5%)	31 (31%)
③どちらかという星野君に共感する。	21 (35%)	16 (40%)	37 (37%)
④星野君の行動に全面的に賛成する。	13 (21%)	2 (5%)	15 (15%)
⑤その他	4 (7%)	2 (5%)	6 (6%)
合計	60	40	100

①別府監督の言っていることに 全面的に賛成

- ・試合は真剣勝負なので勝ち負けがある。負けてもそこから得られる経験があるので、最後までベストを尽くす。なので、監督の気持は痛いぐらい分かった。
- ・野球は個人競技でなくチームプレーが重要であるため、統制を乱したことは良くなし。監督はチームを統括する立場にあるので、責任を伴う分、チームを動かすための発言、指示は認めるべきだ。
- ・チーム戦で星野君のような人がいることはチームとして不利になるので、監督の言うことは正しいと思った。
- ・監督の指示に従わなければ組織は意味を成さない。指示が不当なものなら別だが、今回はそのようなものではない。
- ・今回の星野君の事例は、たまたまヒットになっただけであって、失敗していたら負けていたかもしれないので、別府監督の意見に賛成。
- ・そもそも監督のサインに従わないなら、監督はいなくてもいいことになってしまう。星野君のツーベースは結果論だ。野球やソフトボールは、10回中、3回ヒットを打てば凄いと言われる中で打てたのは凄いが、もししれで打てていなければチームは負けていた。チームの負けは監督の責任になる。だから別府監督に賛成する。

②どちらかという別府監督に共感する。

- ・全力程度を結ぶチームプレーである以上、誰か一人が自分勝手な行動をしてしまうと、今回はたまたま勝利に繋がったが、チームとして成り立たなくなってしまうと思うからだ。しかしだからと言って、星野君を外すというのは違うのではないかと思った。
- ・星野君は結果的には二塁打を打っているが、内野ゴロでゲッツーした可能性もあると考えると、星野君の行動は良くなかったと思った。結果論ではあるが、二塁打を打ったことを監督は教育者として、少しは褒めるべきだ。
- ・別府監督のいう犠牲の精神は大切なことだし、一度決めたことは守るのが大切だ。ただ、約束を破ったからといって、次の大会に参加させないというのは勝ちたいと思っている選手に対して失礼である。何より星野君がチームのために犠牲の精神を育める機会を奪っていると思う。
- ・いくら星野君が打ったからといっても、別府監督のバンドをしろといったことを守っていなかったのはよくないと思う。しかし監督は監督でこのことに対し、長々引張りすぎているのではないか。
- ・あの場面はノーアウト一塁でバンドをすすれば、ほぼ確実に点が取れるし、みんなこれまで練習を県大会出場のためにやってきたんだから、自分勝手な行動はいけないと思う。しかし監督が星野君への説得を丁寧にするべきだった。

③どちらかというと星野君に共感する。

- ・確かに星野君はその作戦を承知したが、しかし何もかも作戦通りに事が動くとは限らない。確かに統制を乱したが、それほど怒るようなことではないと思う。
- ・監督の指示を聞くのは良いことだが、バッテリーボックスにいるのは星野君であり、星野君が打てるならそれを信じる、打たせてあげるべきである。だから打った星野君に共感する。
- ・星野君が別府監督の指示に従わなかったのは悪い。だが、結果として星野君が二塁打を打ったからチームが勝ったので、別府監督は星野君を責めるのではなく、チームは勝ったことを監督として、一人の大人として喜ぶべきだ。
- ・星野がチームを勝たせる為にそういう行動したのだから、機転の利く人だと評価してもいいのではないか。初めに決めたことでも、別府さんは少しやりすぎな気がして、別府さんの意見には賛成できない。私もスポーツやっていた時は、先生の指示とは違うプレーをすることなんか試合の中でたくさんあったので難しいところだと思った。
- ・みんなで決めたルールに従わなかったことについては私は反対意見であるが、ルールに子どもの活躍を制限するようなものがあるってはいけないと思うし、心なしか監督のためにあるルールのように思える。ルールに承知したとあるが、そのルールが時にどんな事態を招くかデメリットを教える。豊定かでないため、私は星の子に共感する。
- ・今回の場合は星野君が結果を出せたので共感できた。別府監督は星野君がバントが嫌いなことを知っておくべきだと思う。正直このくらいの年代の子に、「社会に出たら～」なんてことを言う監督は大人気ないようにも感じる。子どもとの意思疎通が出来ていない。
- ・野球の世界では監督からの指示が絶対かもしれないが、人生の中では自分の考えを押し通すことも大切だと思う。

④星野君の行動に全面的に賛成する。

- ・監督の指示通りにしなかったことは悪いかもかもしれないが、選手を信じるのが少年野球において大切なことだと思うし、チームの和を乱したわけではない。そもそもチームの和を乱したのは、叱るではなく怒った監督である。今回の話の監督は、申し訳ないが、指導者としては最悪だと思う。子どもを信じてあげられない、チームをまとめる人として、大人としてはダメなことだと思う。
- ・Nクラブの体制として、どこか絶対王政のようなものを感じる。監督の役割は、チームの育成、勝利、そして「選手の可能性を信じる」ことだろう。選手の才能を度外視してやるスポーツは、ただのボードゲームである。自分を信じ、チームを勝利に導いた星野くんの行動、考えは、スポーツマンとして正しい行動であると考えられる。
- ・別府はもっともらしい理由を並べているが、要は自分の思い通りにならなかったのが気に食わなかったのだ。知恵を持った少年より上位の人間が言い包めているようにしか見えない。厳しく叱責しただけならば、大人気ないが一理あると思えたのだが、星野少年をチームから排除しようとする行為には疑問を抱かざるを得ない。少年らよりも、上位の人間としてのプライドなる、恐怖を与えることによる統制を狙っていると考えられる。結局、別府氏は「チーム」よりも自身が決めたルールや考えを優先させたのである。狭量な行いである。二度目のチャンスを与えるという選択肢もあったのだ。

⑤その他の意見

- ・星野君の行動に全面的に賛成するが、最後の別府監督に屈するのが全く理解できない。
- ・どちらにも賛同できない。チームである以上、規則を破る星野君には、相応の処分が必要だと思う。別府監督の言葉の途中までは同意できるが、犠牲の精神については、自分から行うから犠牲なのであって、この言い方では、犠牲を強要しているように聞こえる。
- ・どっちもどっちだと思う。星野君は結果が良かったが、統制を乱したことは良くない。自分の意見をもっと言えば良いと思う。言わぬなら悔やむと思う。別府監督は、統制を守るという意味では良い。だが、星野君も一人の選手として、犠牲なしにして勝つ方法はなかったのかと思う。
- ・野球のルールを知らないのだから分からない。
- ・野球のルールがよく分からないのでなんとも言えない。